

# 学習リモコン基板



### ◆ 電源接続

IchigoJamからの給電には対応していません。  
ご利用時には必ず、ボード上のUSBポートへ給電を行いご利用ください。

### ◆赤外線信号の記憶

- [1] スライドスイッチを基板シルク印刷上の「LEARNモード」へ（インジケータLEDが青色に点灯）
- [2] 記録したいスイッチを押す（基板上のシルクをご確認くださいSW1～SW7）
- [3] リモコンを操作し、記憶させる（赤外線受信時にインジケータLEDが緑に点滅します）
- [4] スライドスイッチを戻す（もしくは記憶したい次のスイッチを押す 2へ）

### ◆赤外線信号の送信

- [1] スライドスイッチを基板シルク印刷上の「CONTROLモード」へ
- [2] 送信したい番号のスイッチを押す
- [3] 赤外線FDから送信

※スイッチはIchigoJamのPINとつながっており、IchigoJamからのPIN操作で赤外線信号を出力することが可能です。

拡張ボードSW番号	1	2	3	4	5	6	7
IchigoJamPIN番号	9	10	11	12	18	17	6

### ◆インジゲータLED動作仕様

LED状態	状態
赤点滅	ゆっくり点滅 > 電源ON/正常                      はやい点滅 > 異常
青点灯	記憶モード
緑点滅	赤外線受信
赤-青交互点滅	ブートモード

### ◆ センサ取り付け用ピンソケットのハンダ付け

基板正面下部のSENSOR端子に製品付属の6ピンソケットをハンダ付けする事で、IchigoJamで利用していたセンサが利用可能です。基板に印刷されているVCC\_IJがプラス、GNDがマイナスの電気となり、IN1、IN2はIchigoJamのIN1、IN2端子に繋がっています。



おとなのひとといっしょにやってください

### ◆ サンプルBASICコード

おとなのひとといっしょにあそんでください

### サンプルBASICコード1：焦電センサで人を感知しよう！

焦電センサを取り付け人がいるかいないかを感知して赤外線を発信するプログラムです。  
焦電センサは基板上のIN1に取り付けます。  
SW1とSW2には予め動かしたい機器のリコン信号を登録してください。  
SW1には人がいる時に動かしたい信号を、SW2には人がいないときに動かしたい信号になります。

```

10 P=IN(1)
20 IF P THEN GOTO @ON ELSE GOTO @OFF
30 @ON
40 OUT 1,0
50 GOTO @FINALLY
60 @OFF
70 OUT 2,0
80 GOTO @FINALLY
90 @FINALLY
100 WAIT 20
110 OUT ~64
120 OUT 8,-1
130 OUT 9,-1
140 GOTO 10

```

### サンプルBASICコード 2：順番にリモコン信号を発射しよう！

SW1からSW7まで順番にリモコン信号を発信するプログラムです。  
動かしたら、リモコン信号をボタンに順番に登録することで、TVやエアコンなどを自動でコントロールできます。

```

10 OUT ~64
20 N=0
30 FOR I=0 TO 6:
40 OUT ~N
50 N=1<<I
60 WAIT(60)
70 NEXT
80 OUT 11,0
90 WAIT(60)
100 OUT ~64

```